

第23回2008年話題の人 「変わり羽子板」

株式会社久月
2008年12月4日(木)
久月本社1階正面入口
(東京都台東区柳橋)



「おバカブーム」



おバカキャラを確立し、ユニークな母親、妹とそろっての活躍により明るい話題を大いに提供したタレントのスザンヌ。

「ニコニコ!」



前回04年のアテネオリンピック、今回08年の北京オリンピックと連続して、競泳100mと200mの二冠に輝いた北島康介選手。日本中に興奮と感動を与えた。

「政策より政局? 政局より政策?」



9月に就任した麻生太郎首相。「政局より政策(景気対策最優先)」と衆院解散を先送りしたが、2次補正予算を提出せず、約束の政策は後回し。「政策より政局」の印象が色濃い。

「もっと自信をもとう日本!」



小林誠高エネルギー加速器研究機構名誉教授、益川敏英京都大学名誉教授、南部陽一郎米シカゴ大学名誉教授、下村脩米ボストン大学名誉教授の4人が一挙にノーベル賞を受賞。日本人の誇りや自信を回復させた。

「メイク・レジェンド」



原辰徳読売ジャイアンツ監督、小笠原道大選手、アレックス・ラミレス選手。最大13・5ゲーム差をひっくり返してのリーグ連覇は歴史的快挙で、日本中をハラハラ興奮させた。久しく離れていた野球ファンを取り戻した功績は大きい。

「あおいが良かった」



宮崎あおいは歴代最年少の主役でありながら、女性層の高い支持を取り付け高視聴率を獲得。初めて本放送期間中のアンコール再放送が実施されるほどの人気番組にした。

「有終の金」



次回から、正式競技から外れることが決定しているソフトボール。参加種目としては最後となる舞台で、連戦連投で勝利を収めた上野由岐子選手の活躍ぶりは日本中を熱狂させた。

「Yes We Can!」



私たちは単なる個人の集合ではなくアメリカ合衆国の一員だと説き国民に夢、希望、期待を持たせたバラク・オバマ第44代大統領。

2008年 真多呂人形変わりびな

株式会社真多呂人形
2008年12月5日(金)
真多呂人形会館3階展示室
(東京都台東区上野)



「異常気象雛」



猛暑に参った様子のサラリーマンと、強風で身動きのとれない女性。連日の猛暑、ゲリラ豪雨と異常気象にみまわれた日本列島。地球環境の変化を肌で感じる一年となった。

「北京五輪金メダル雛」



北京オリンピックで活躍した水泳・北島康介選手とソフトボール・上野由岐子選手。北島選手は2種目で金メダルを獲得。上野選手は接戦のなかで連投し、初優勝を遂げた。

「政局混乱雛」



9月に就任した麻生太郎首相は、漫画好きで知られ、総裁選挙の際と就任後にも、漫画とアニメ文化の発信地・秋葉原で街頭演説し、若者層の関心を惹きつけた。麻生首相と秋葉原のシンボルのメイド姿の女性。

「おばかキャラ雛」



クイズ番組での珍回答で注目され、その言動と親しみやすさで人気を博したおばかキャラ。その筆頭株としてブレイクした、タレントのつるの剛士とスザンヌ。

「世界経済危機雛」



アメリカのサブプライムローンに端を発した経済危機は、さまざまな余波を生んだ。責任を追及されうなだれるブッシュ大統領と、相次ぐ値上げに困惑する主婦。

「メタボ追放雛」



政府の主導で今年4月から義務化されたメタボリック検診。義務化をきっかけにダイエットの話題が活発に取り上げられるようになった。メタボ体型の男女が運動に励む様子。